

真備地区復興懇談会における 主な意見について

令和2年度 真備地区復興懇談会の開催



○ 真備地区の復興に向けて、今年3月に改定した「真備地区復興計画」の復旧・復興の取組状況等を説明し、住民の皆様からご意見をお伺いするために開催



| 日 時 | | 開催場所 | 参加人数 | |
|-----------|---------|--------------|------|------|
| 10月31日(土) | 13時～15時 | 箭田小学校 体育館 | 約40人 | 約70人 |
| 11月 1日(日) | | | 約30人 | |

【方針1】 経験を活かした災害に強いまちづくり

- 未政川の河川工事について、説明会を開いて、具体的な計画を示してほしい
- 支援学校前の南北市道を多くのダンプが走るため、ゆっくり走ってほしい
- 千曲川のような堤防の被覆は出来ないか
⇒小田川では決壊箇所の復旧にあたり、堤防を20m拡幅し小田川付替えにより水位を低下（国）
- 高馬川について、河川監視カメラを設置しているが、河川に草が繁茂しており、水位が分かりにくい。河道掘削、草刈等、現場をしっかりと確認してほしい
- 有井橋の陸閘について、工事期間中の集中豪雨時はどのように対応するのか
- 吉備路クリーンセンターを避難場所に指定してほしい
⇒広場がごみ集積場所となるため、多くの人々が避難する場所には難しい（市）
- 真備地区は新成羽川ダムの放流の影響を大きく受けるが、空振りを恐れて事前放流しない方向にならないよう、再度中国電力と交渉してほしい
- ダムが放流した際にサイレンを鳴らしてほしい
- 要援護者の避難についてしっかりと取組んでほしい
- 避難命令が出ると拡幅した小田川堤防の交通量が増えると思う。安全を確保してほしい ⇒大型車の通行規制を検討中です（市）

2

【方針2】 みんなで住み続けられるまちづくり

- 集会所の改修費について、負担が困難な世帯がある
- 真備図書館の復旧にあたり、どこまでの利用が出来るか教えてほしい
- 災害公営住宅は、まちの資源として賑わいのある場にしてほしい

【方針4】 地域資源の魅力を伸ばすまちづくり

- 復興防災公園へのアクセス道を教えてほしい
- ウォーキングやマラソン、サイクリングが出来る、倉敷市街地から復興防災公園、矢掛へつながるルートを整備してほしい
- 真備地区の特色を生かしたまちづくりをしてほしい
- 高梁川や小田川の河川敷で水と親しめるようにしてほしい

その他

- 地震体験車を市でも購入してほしい
⇒消防局にある体験施設を活用願いたい（市）
- 伝承館について、市はどのように考えているのか
⇒水害の記録を今後のために活用していきたいという考え方は同じ（市）
- 高梁川の水位が高い要因は笠井堰であると考えているため、撤去してほしい
- 復興懇談会の質疑応答の内容を住民に知らせてほしい

3